

「ニコチン依存症保険適応後1年間の 喫煙・禁煙事情 調査報告」

ノバルティス ファーマ株式会社

2007年5月22日



調査概要

本調査設計

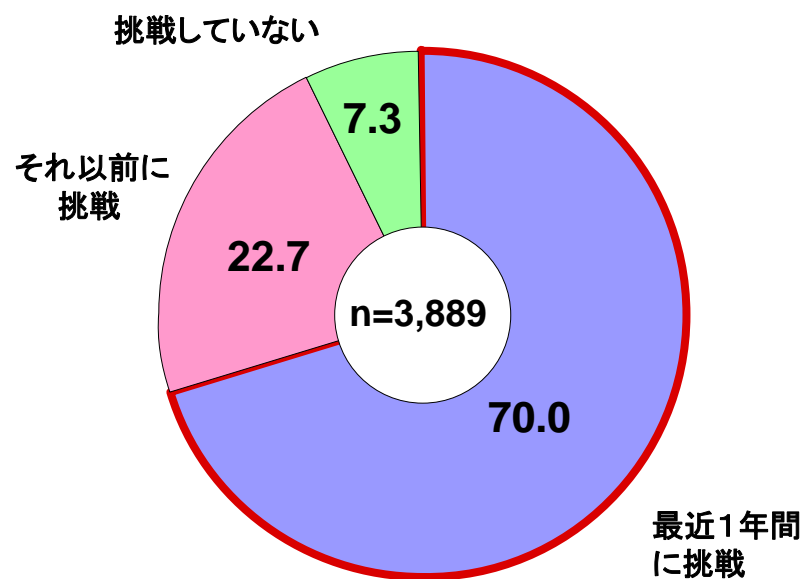
- 1) 調査地域 : 全国
 2) 調査方法 : インターネット調査
 3) 調査対象 : 20～60歳男女
 4) 抽出フレーム : Yahoo! リサーチモニター (78,321人)
 5) 調査期間 : 2007/3/27～4/9
 6) 対象者条件 : スクリーニングから、ニコチン依存症管理料の保険適用後
 2006年4月～2007年3月の直近1年間に禁煙を考えた喫煙者(3,889人)を抽出
 7) 回収結果

本調査 回収結果	TOTAL	直近1年間に禁煙を考えた喫煙者			
		直近1年以内 禁煙挑戦&失敗	それ以前に 禁煙挑戦&失敗	禁煙に挑戦 していない	直近1年以内 禁煙挑戦&成功
TOTAL	3889	1270	882	283	1454
男性	2597	812	648	182	955
女性	1292	458	234	101	499

本調査対象者の動向

保険適用後1年間に禁煙を考えた人(3,889人)のうち、2,724人が実際に禁煙に挑戦したと答えています。

保険適用後1年間に禁煙を考えた人の
直近一年間の禁煙挑戦状況

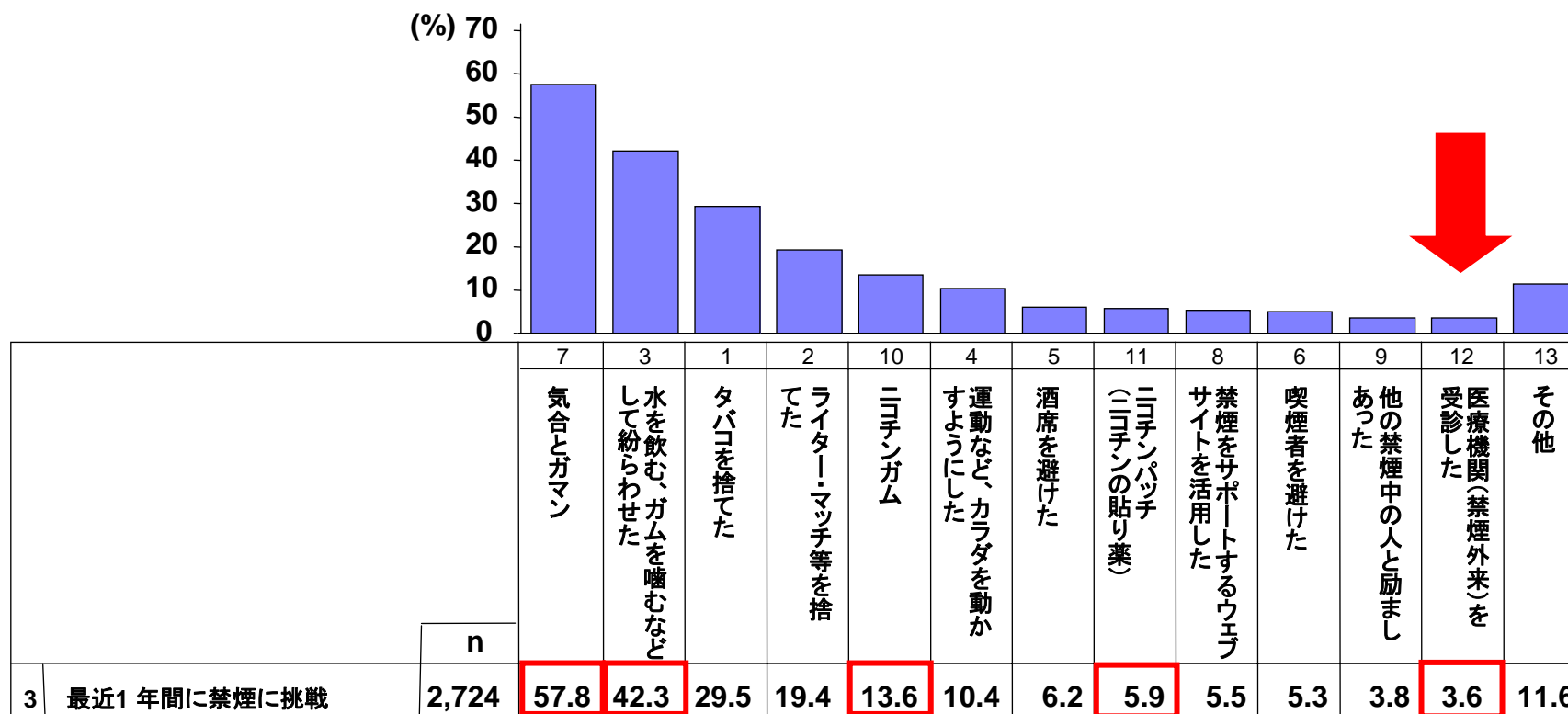


禁煙方法

直近1年間で禁煙に挑戦した人の禁煙方法は

「気合とガマン」57.8%、「水を飲む、ガムをかむなどして紛らわした」42.3%が最も多く、「ニコチンパッチを貼る」5.9%、「医療機関(禁煙外来)を受診」3.6%などは、低率に留まっています。

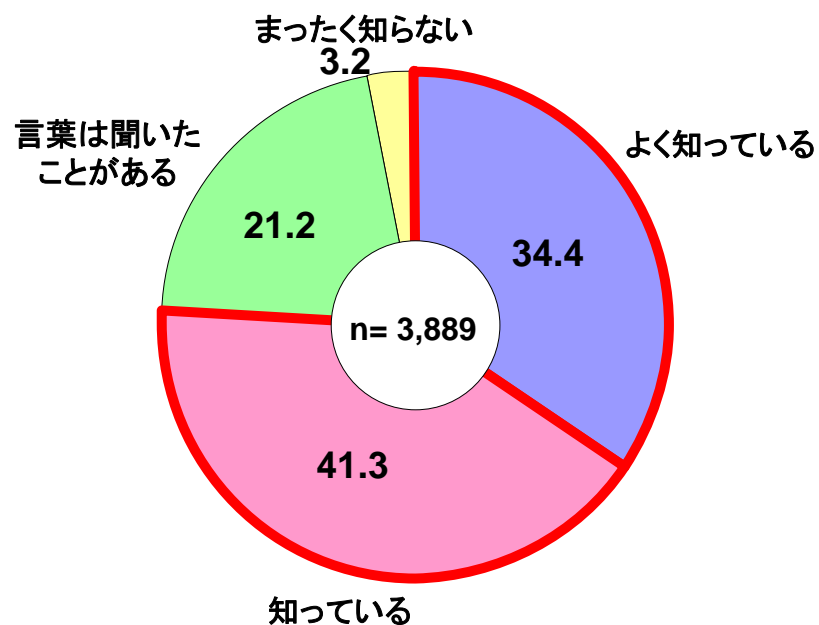
Q13 ここ1年であなたが実際に取り組んだことのある禁煙方法をすべてお答えください。(複数回答)



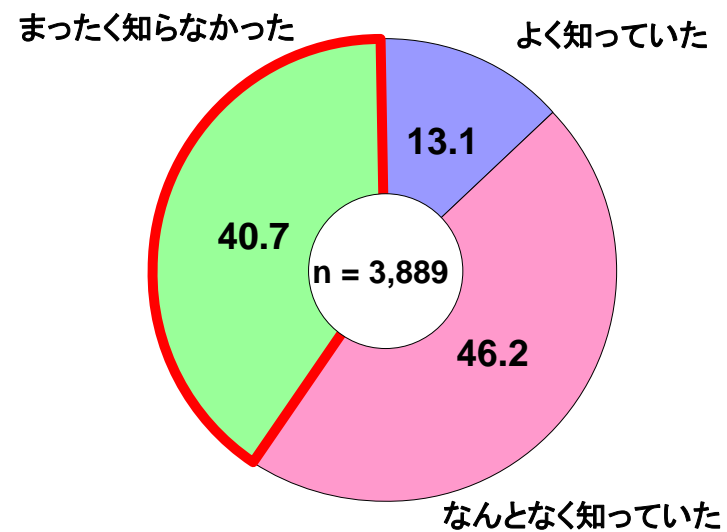
ニコチン依存症 (ND) 認知度

ニコチン依存症 (ND) の認知度に関する質問では、「ニコチン依存症」という言葉については、約76%が「知っている」と答えましたが、一方で、「タバコをやめられないのは病気である」ことを「まったく知らない」人が40.7%に上り、「よく知っている」は13.1%に留まりました。

Q19 「ニコチン依存症」という言葉を知っていますか



Q21 タバコをやめられないのが病気のためであることを知っていますか

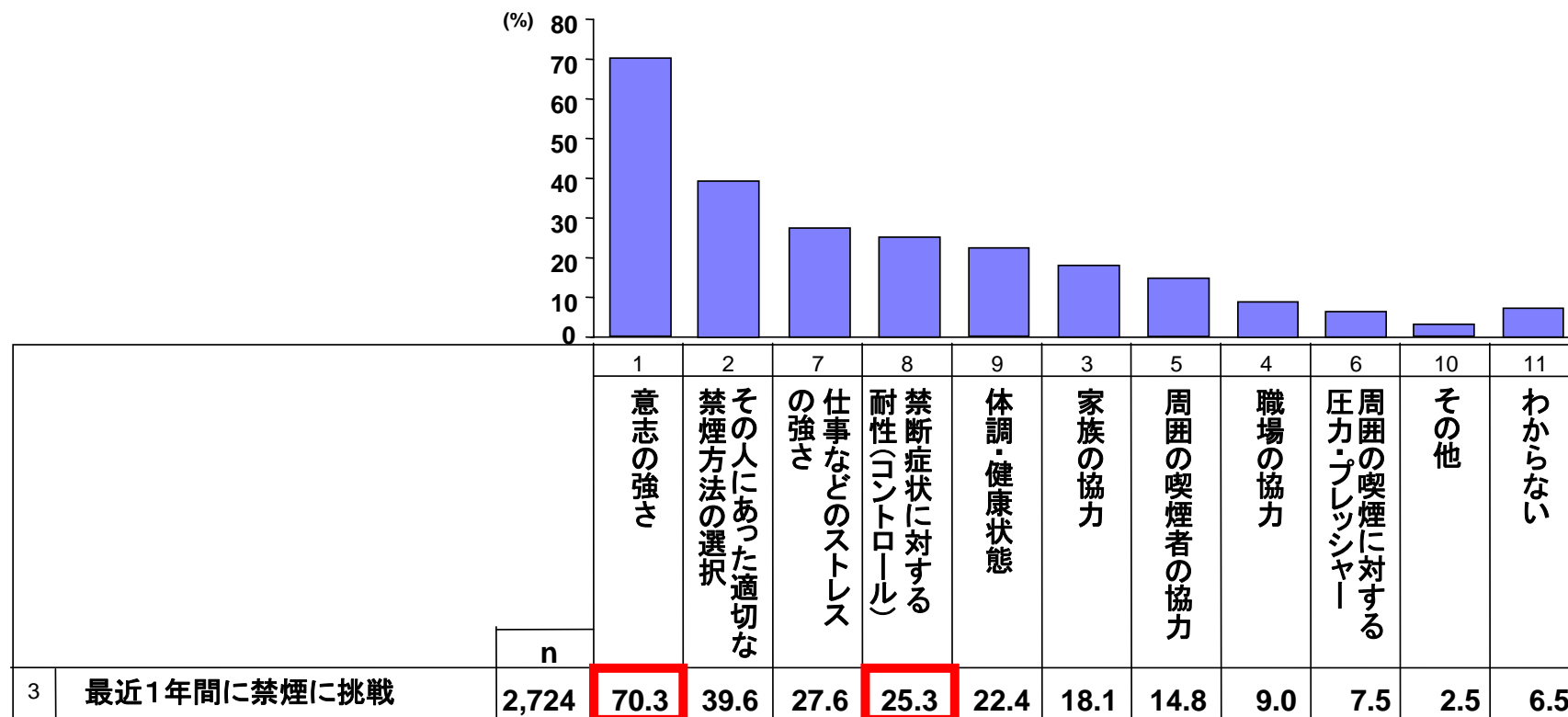


禁煙の成功要因は？

禁煙の成功要因を問う質問では、「意志の強さ」が70.3%と最も高く、「禁断症状に対する耐性(コントロール)」は25.3%に留まりました。

「タバコを止められない=NDという病気」の認知がさほど広がっていないことが推察されます。

Q57 禁煙に成功する人と失敗する人では、どこに違いがあるとおもいますか。(複数回答可)

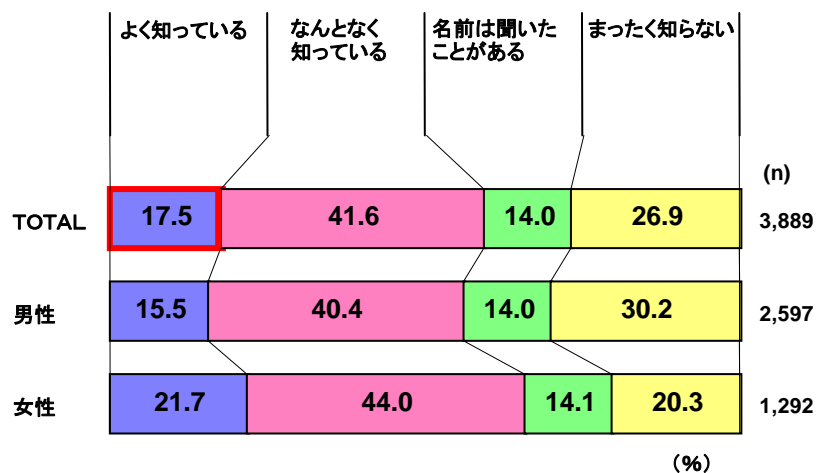


禁煙外来の認知度

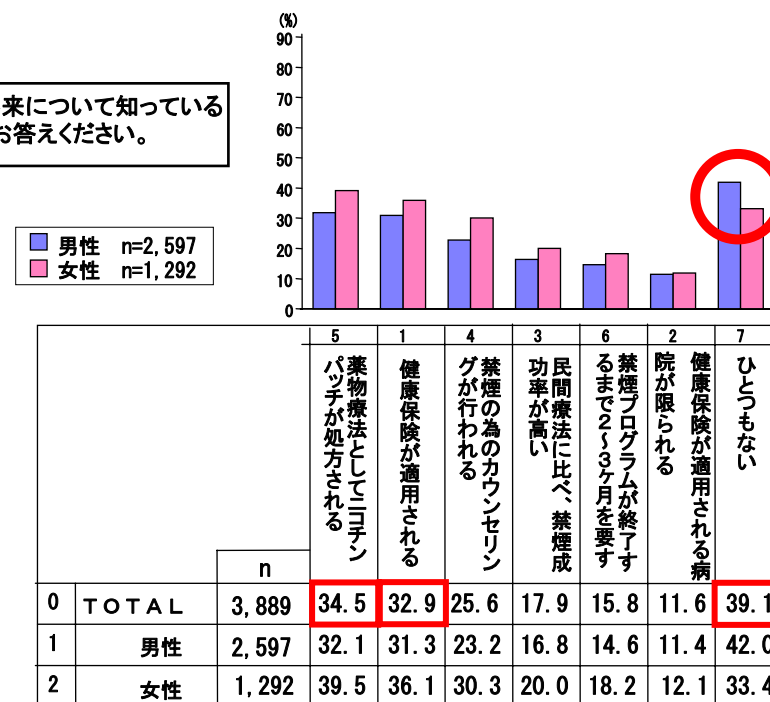
禁煙外来の認知度に関する質問では、「よく知っている」人は17.5%のみで、「なんとなく知っている」、「名前は聞いたことがある」を含めると73.1%の人が、「禁煙外来」の存在は知っていることが分かります。また、全体的に男性に比べ、女性の認知率が高くなっています。

しかし、禁煙外来の内容に関する質問では、「何(ひとつ)も知らない」の39.1%が最も多く、次いで「薬物療法としてニコチンパッチが処方される」34.5%と、禁煙外来があることは知っているが、その実態についてはよく知られていない実情が浮かび上がりました。

Q37 禁煙は病院(禁煙外来)で治療してもらえることをしていますか



Q38 禁煙外来について知っていることをお答えください。



禁煙外来受診者のプロフィール

禁煙外来受診者は非受診者よりも、1日あたりの喫煙本数、喫煙年数、依存度の指標となるブリンクマン指数、及び禁煙取り組み回数ของすべてにおいて高い数値を示す傾向にありました。



《直近1年の禁煙外来受診者プロフィール》

男女比: 男性 7: 女性 3

平均年齢: 43.6 歳

年代:	50代以上	36.0%
	40代	25.4%
	30代	26.7%
	20代	11.6%

(以下平均値)

喫煙本数(1日)	26.7本
喫煙年数	20.2年
ブリンクマン指数	551.7
禁煙取り組み回数	3.9 回

(参考)非受診者

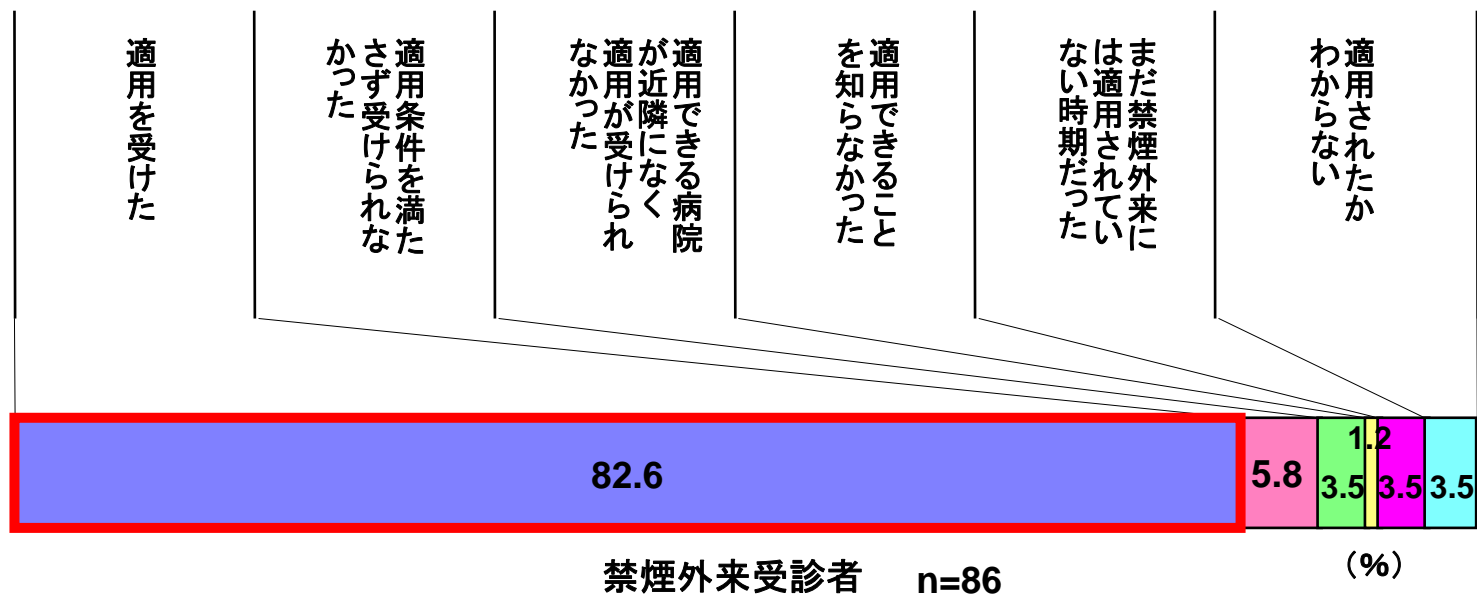
喫煙本数(1日)	19.1本
喫煙年数	16.7年
ブリンクマン指数	354.1
禁煙取り組み回数	3.7回

禁煙外来での保険適用

禁煙外来受診者のうち、82.6%の人は保険を適用して治療を受けられました。

適用を受けられなかった人の理由としては「適用条件を満たさず受けられなかった」5.8%、「近隣に適用が受けられる病院がなかった」3.5%等でした。

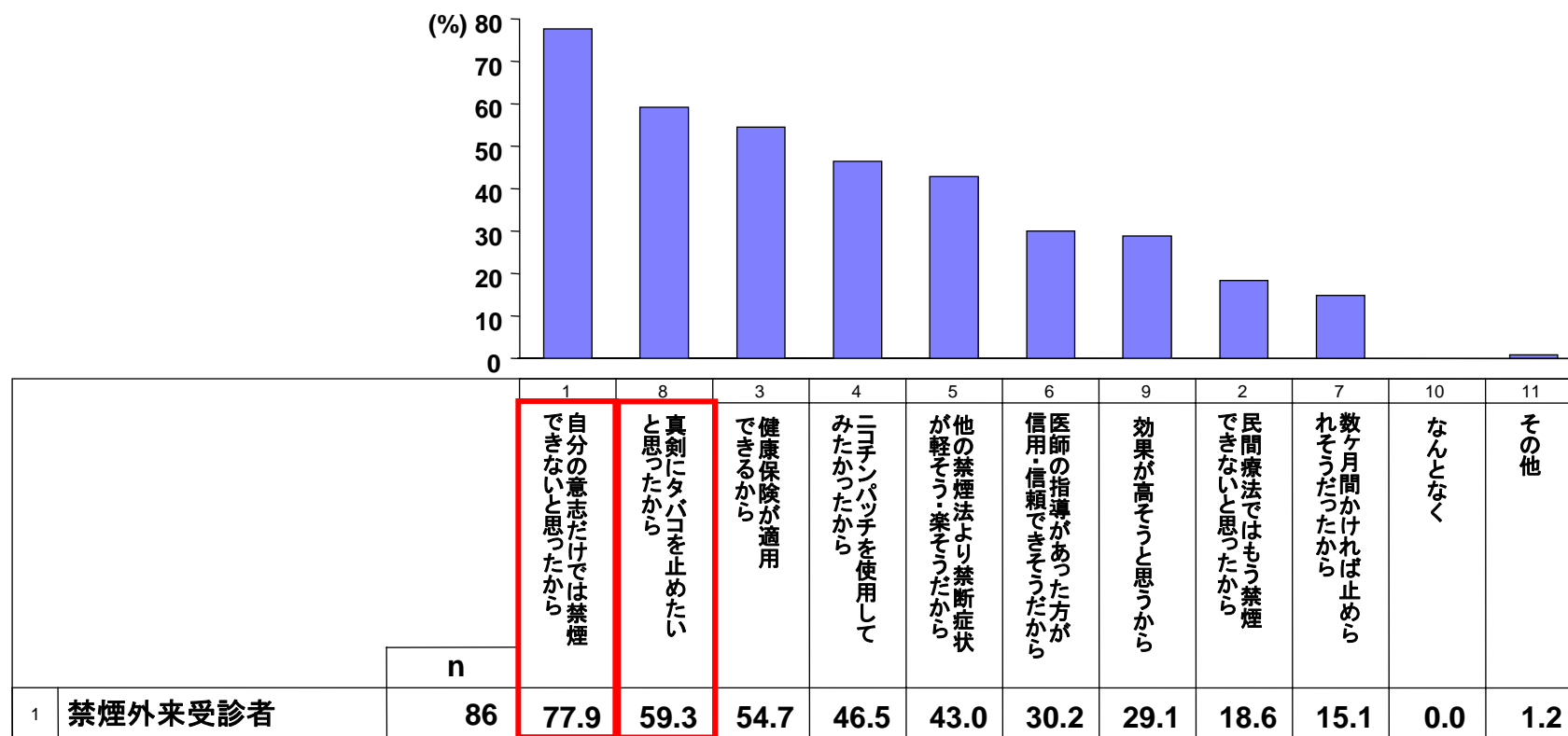
Q44 治療に際して、健康保険は適用されましたか。



「禁煙外来」の受診理由

禁煙外来受診者に聞いた、禁煙外来の受診理由として最も多かったのは「自分の意志では禁煙できないと思ったから」が77.9%、次いで「真剣にタバコをやめたいから」の59.3%で、禁煙に対する切実な思いがうかがえます。

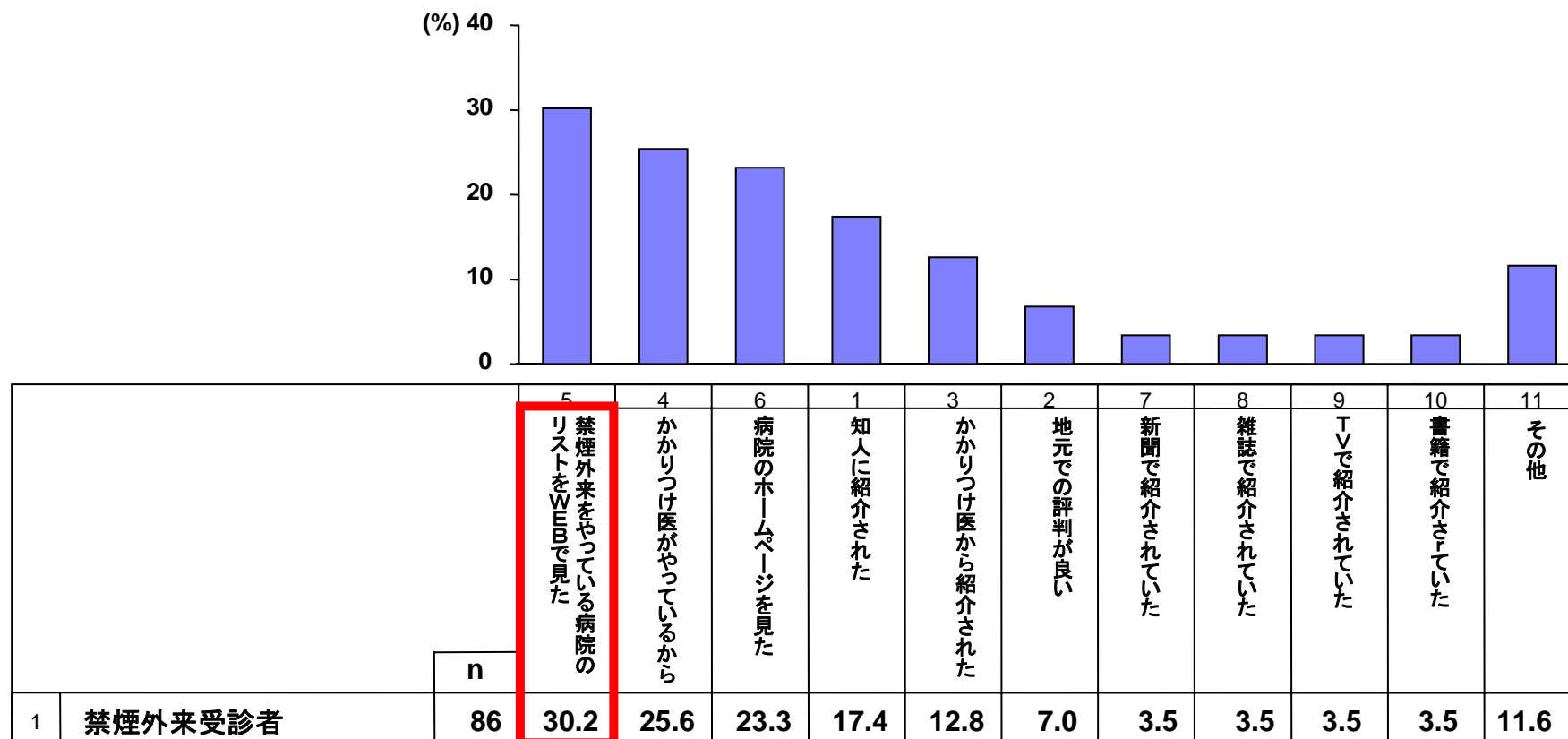
Q42 直近1年の禁煙外来受診者の受診理由



禁煙外来受診者の受診病院 選択理由

禁煙外来受診者に、通院病院を選んだきっかけを聞いたところ、「禁煙外来をやっている病院のリストをWEBで見た」が30.2%と、受診にあたり積極的に情報収集をしている様子が見えます。

Q43 病院【禁煙外来】を受診するにあたり、その病院を選んだきっかけは何ですか。



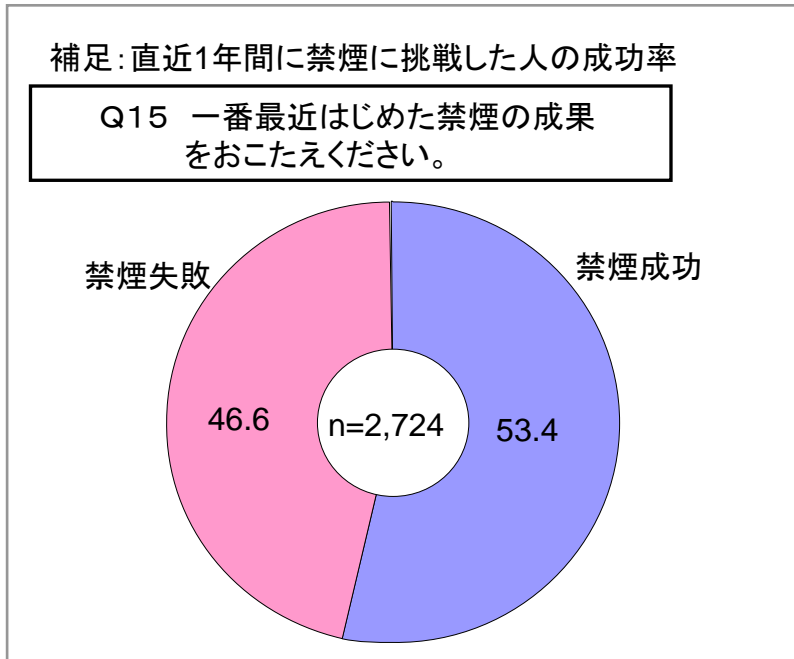
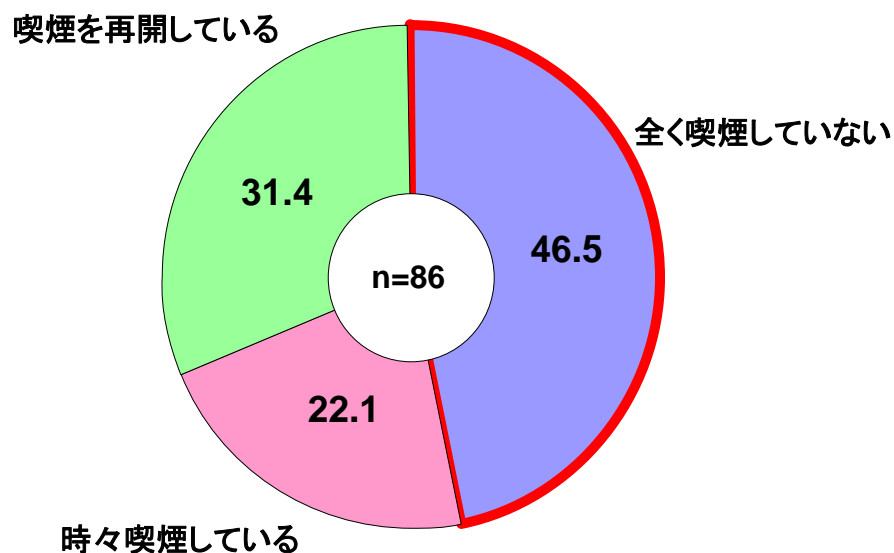
禁煙外来受診者の成功率

禁煙外来受診者の禁煙成功率は46.5%で、喫煙を再開している人は、31.4%でした。

また、禁煙外来受診者は、【添付資料7】にあるとおり、喫煙本数、喫煙年数、依存度の指標となるブリンクマン指数、及び禁煙取り組み回数のすべてにおいて高い数値を示す傾向にありました。

※今回の調査結果では、禁煙外来の受診回数に関するデータを収集していないため、今回の受診者における受診回数がどのような割合となっているかは不明です。

Q15 直近1年の禁煙外来受診者の成果

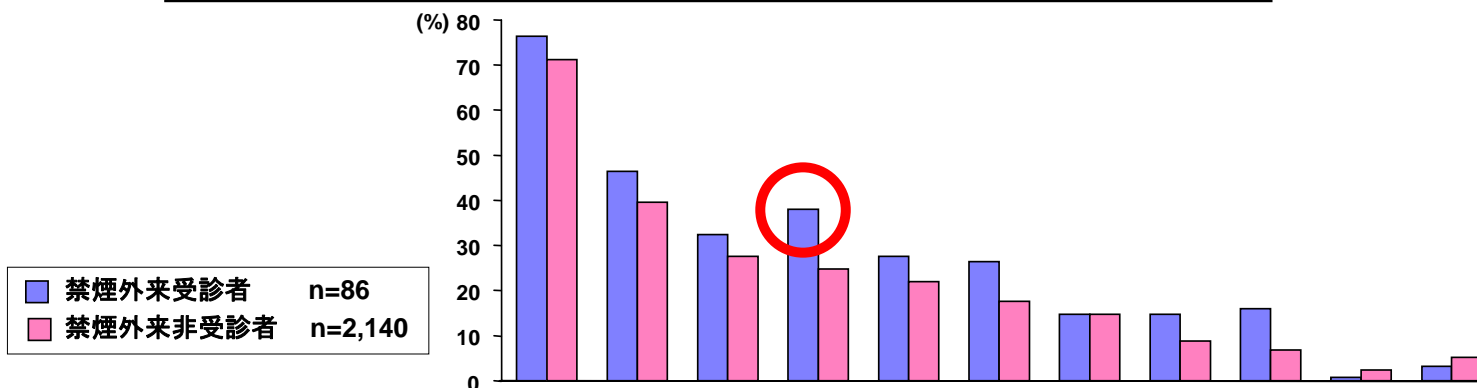


禁煙の成功要因は？

<禁煙外来受診者と非受診者の回答結果>

「意志の強さ」をあげる人が依然として多い中、禁煙外来受診者では、「禁断症状に対する耐性(コントロール)」を成功要因に挙げる人が非受診者よりも13.4%高く、実際の受診行動を通じて、薬剤による治療への理解が向上していることが見受けられます。

Q57 禁煙に成功する人と失敗する人では、どこに違いがあると思いますか



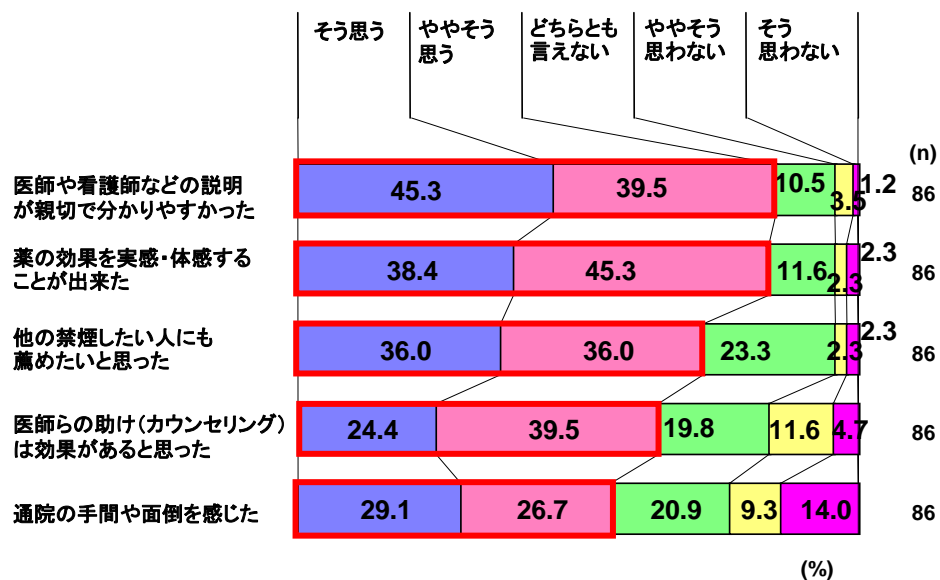
		n	1 意志の強さ	2 禁煙方法の選択	7 仕事などのストレスの強さ	8 禁断症状に対する耐性	9 体調・健康状態	3 家族の協力	5 周囲の喫煙者の協力	4 職場の協力	6 周囲の喫煙者に対する圧力・プレッシャー	10 その他	11 わからない
1	禁煙外来受診者	86	76.7	46.5	32.6	38.4	27.9	26.7	15.1	15.1	16.3	1.2	3.5
2	禁煙外来非受診者	2,140	71.3	39.6	27.9	25.0	22.3	17.9	14.9	8.9	7.1	2.8	5.5

「禁煙外来」の評価

禁煙外来受診者の禁煙外来に対する評価としては、「医師や看護師などの説明が親切でわかりやすい」84.8%、「薬の効果を実感・体験することができた」83.7%、「他の禁煙したい人にも薦めたい」72.0%と概ね高い評価を得ています。

また、禁煙外来受診者のほうが、次回禁煙する際に「禁煙外来」を受診したいと答える人が多い結果となり、一度、禁煙外来を受診された方は、その有用性を実感されているようです。

Q45 禁煙外来を受診していかがでしたか



(参考)

Q47 今後禁煙する機会があったら禁煙外来を受診してみたいですか

